

# 放射線診断科

## a. 体制

スタッフの変化：2024 年 4 月には文元方哉、拾尾真秀人が専攻医として着任した。9 月末に伊藤玲佳（医員）・高橋瞭（専攻医）が研修プログラムに沿って京大病院に異動した。2025 年 3 月末には広川侑奨部長が医局人事にて退職、文元方哉（専攻医）が研修プログラムに沿って異動となった。

放射線領域の中で、放射線診断科は画像診断・IVR・核医学を担当している。当施設は、日本医学放射線学会の放射線科専門医総合修練機関、日本核医学会専門医教育病院として認定され、また日本医学放射線学会より画像診断管理認証施設として認定されている。それぞれの施設認証要件に則り、各画像検査や IVR の量的・質的充実を引き続き図っている。

核医学検査室に 2021 年に設置された PET/CT 装置では、地域医療機関からの検査依頼への対応を拡大してきた。また 2024 年度にはアミロイド PET 検査も開始し、アルツハイマー病に対する新たな疾患修飾薬の適応評価に活用している。CT では本館に増設された装置の利用が順調に継続されている。MRI は装置の更新が進み、撮像が高速化してスループットが向上し、新館設置の装置の利用も拡大して検査需要の増大に対応している。このため検査件数はとくに MRI 検査についてやや増加傾向となっており、また 2024 年度は担当医師の尽力もあり IVR 件数が増加した。スタッフ数は近年やや減少傾向にあり負担は増加しているが、その中で読影の質を担保・向上し、かつ効率化を目指すべく日々努めている。

## ● 放射線診断科医師

石守 崇好 （主任部長 H6 卒、専門：核医学）放射線診断専門医、核医学専門医、PET 核医学認定医

奥村 亮介 （嘱託 S59 卒、専門：脳神経診断）放射線診断専門医

広川 侑奨 （部長 H9 卒、専門：画像診断・IVR・核医学）放射線診断専門医、核医学専門医、PET 核医学認定医、検診マンモグラフィ読影認定医（2025.3 退職）

久保 滋人 （副部長 H6 卒、専門：画像診断、女性骨盤、肝胆膵、心血管領域）放射線診断専門医、PET 核医学認定医

澤田 健 （副部長 H15 卒、専門：画像診断、神経放射線）放射線診断専門医、核医学専門医、PET 核医学認定医

糟谷 誠 （副部長 H15 卒、専門：画像診断）放射線診断専門医、PET 核医学認定医

井上 依里香 （医員、H26 卒）放射線診断専門医

高田 知和 （医員、H28 卒）放射線診断専門医

油谷 英孝 （医員、H27 卒）放射線科専門医

伊藤 玲佳 （医員、H30 卒）（2024.9 退職）

高橋 瞭 （専攻医、R2 卒）（2024.9 退職）

文元 方哉 （専攻医、R2 卒）（2024.4 着任、2025.3 退職）

拾尾 真秀人 （専攻医、R4 卒）（2024.4 着任）

b. 診療実績（所見報告書作成成分）

|           |         |
|-----------|---------|
| X 線単純撮影   | 17499 件 |
| 消化管 X 線検査 | 249 件   |
| CT        | 39488 件 |
| MRI       | 21552 件 |
| 核医学検査     | 2583 件  |
| PET/CT    | 1356 件  |
| 一般核医学     | 1227 件  |
| IVR       | 103 件   |

c. 研究実績

【学会】

- 1 文元方哉, 久保滋人, 拾尾 真秀人, 高田 知和, 油谷 英孝, 井上 依里香, 糟谷 誠 澤田 健, 奥村 亮介, 広川侑奨, 石守 崇好, 本庄 原 卵巣癌に併存し癌性腹膜炎との鑑別を要した結核性腹膜炎の 1 例 Japanese Society for the Advancement of Women's Imaging 2024/10/11~10/12(兵庫 (淡路夢舞台国際会議場))
- 2 Shigeto Kubo, Mahoto Juuo, Masaya Fumimoto, Hidetaka Yutani, Tomokazu Takada, Erika Inoue, Makoto Kasuya, Yusuke Hirokawa, Takayoshi Ishimori Comparison of T1 and T2 mapping and ADC map in the evaluation of placental changes during gestation European Congress of Radiology 2025 2025/2/26~3/2(ウィーン / オーストリア)
- 3 Erika Inoue, Mami Iima, Masako Kataoka, Akane Ohashi, Maya Honda, Ken Yamaguchi, Yukiko Tokuda, Sachiko Takahara, Takayoshi Ishimori, Yuji Nakamoto Effect of b Values & Choice of Fat Suppression Method on Lesion Evaluation in Breast DWI ISMRM 2025 Workshop on 40 Years of Diffusion 2025/2/17(京都 (京都大学芝蘭会館))
- 4 Takayoshi Ishimori Patient safety and risk management in clinical nuclear medicine practice International Atomic Energy Agency (IAEA) Regional Workshop on Best Practices in Centers of Excellence for Nuclear Medicine; Radiology and Radionuclide Therapy 2024/10/28(京都 (京都大学医学部附属病院))
- 5 石守 崇好 Radiotheranostics としての放射性医薬品の活用 (医師の立場から) 第 34 回日本医療薬学会年会 シンポジウム 37 診断と治療を推進する Theranostics 用放射性医薬品 2024/11/3(千葉 (幕張メッセ))
- 6 石守 崇好 Radiotheranostics を志向した核医学診療における放射性医薬品の活用 (医師の立場から) 第 63 回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会 中国四国支部学術大会シンポジウム 5 薬剤師・薬学研究者にとっての放射性医薬品の世界 2024/11/17(岡山 (就実大学))

【論文】

(原著論文)

- 1 Aika Okazawa, ..., Ryosuke Okumura, Sachiko Takahara, Tomotaka Noda, Taro Nishi, Takayoshi

Ishimori, Yuji Nakamoto\* Diagnostic Utility of an Adjusted DWI Lexicon Using Multiple b-values to Evaluate Breast Lesions in Combination with BI-RADS. *Magn Reson Med Sci.* 23(4):438-448 2024 (査読有り)

(症例報告)

- 1 油谷英孝, 久保滋人, 高橋瞭, 伊藤玲佳, 高田知和, 井上依里香, 大橋茜, 糟谷誠, 澤田健, 奥村亮介, 広川侑奨, 石守崇好. 腹膜・大網・卵巣に播種し, 肝転移を伴う性腺外卵黄嚢腫瘍の一例. *J Jpn Coll Radiol* 日本放射線科専門医会・医会 4:13-19 2024 (査読有り)

## 【研究】

- 1 乳癌診断における MRI 撮影標準化に向けた複数施設前向き研究  
(石守崇好、井上依里香、奥村亮介、高原祥子、岡澤藍夏\*、本田茉也\*、飯間麻美\*、大橋茜\*\*、片岡正子\*\*、中本裕士\*\*)  
(\*: 医学研究所客員研究員・京都大学大学院医学研究科画像診断学・核医学)  
(\*\*: 京都大学大学院医学研究科画像診断学・核医学)
- △ 2 ケモカイン受容体イメージングによる腫瘍のコンパニオン診断と個別化医療の探索  
(学術研究助成基金助成金 2020 202 4 年度 基盤研究(C C) 基金 延長申請))  
(石守崇好)
- 3 mDIXON 法を用いた Time-of-flight-MRA における眼動脈描出の至適条件の検討  
(中村好貴、澤田健、三嶋司、井上秀昭)
- ※ 4 MRI イメージングバイオマーカー開発と P I 試験後観察研究  
(創薬ベンチャーエコシステム強化事業 2024~2025 年度)